

「質量分析装置を用いた回収血栓による

新規脳梗塞病型診断システムの開発」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2023 年 4 月 1 日から 2029 年 9 月 30 日の間に山梨大学医学部附属病院脳神経外科で急性期主幹動脈閉塞症のため血栓回収療法を受けた方

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025 年 8 月 1 日

4. 研究の目的

脳梗塞に対する病型診断と 2 次予防は、神経放射線学的所見や生理検査所見などの間接的証拠を基にした TOAST 分類により決定されますが、脳梗塞の原因が明らかでないものが実臨床では多数存在します。そこで本研究では、山梨大学で独自開発された質量分析装置とデータ解析プログラムを用いて、回収された血栓の起源から脳梗塞の病型を迅速に診断する新たなシステムを構築し、回収された血栓をターゲットとした新規 2 次予防法の確立を目的とします。

5. 研究の方法

当施設で急性期主幹動脈閉塞症に対して血栓回収療法を施行した症例の手術検体を山梨大学で独自開発された質量分析装置にて計測し、データ解析する。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ

試料：手術検体

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 脳神経外科学講座

吉岡 秀幸

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、脳神経外科学講座の研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

担当者の所属・氏名：山梨大学 脳神経外科学講座 青沼祐樹

住所：〒4093821 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：yaonuma@yamanashi.ac.jp

FAX：055-274-2468